

公明党 藤浪 清司 議員



- 1 学校の安全対策について
- 2 災害時の避難所について
- 3 交通不便な地域の対策について

質問1 小中学校併せて6校で吊天井対策が残っているが、具体的にどのように取り組んでいくのか。

答弁1 現在作成中の次期実施計画に、吊天井改修工事の位置づけを求め、早期に改修工事を行いたい。

質問2 一般的な避難所では生活に支障をきたす高齢者・障がいをお持ちの方、妊産婦・乳幼児などを、受け入れる「福祉避難所」が必要であるが、足りていない。移送の判断などの体制・マニュアルは整備されているのか、また医療機関など、関連機関との連携・協力の対応を、どのように考えているのか。

答弁2 搬送する場合のマニュアル等は策定していないので、早急に策定を行いたい。指定避難所の中で、医療相談などを受ける体制が必要であり、医療関係者などとの連携強化に、早急に取り組みたい。

質問3 交通不便な地域の解消については、将来の需要も見据えた対応が急務であり、「新公共交通システム」の取り組みについて尋ねる。玉城町が東京大学と連携して導入しているオンデマンド交通システムが有効と考え、提案をしたい。

答弁3 モデル地域は、一ノ宮・河曲地区の高岡台・国分地域を選定した。地域主体の事業化推進体制の中で交通事業者も含め、新しい仕組みづくりを協議する。協議に際して、検討材料の1つとして、オンデマンド方式など先進事例を紹介していきたい。

無所属 森田 英治 議員



- 1 今後の財政見通しについて
- 2 地域の経済対策について

質問1 過去3年間の歳出・歳入の状況から推測する今後の財政見通しについて。

答弁1 歳入では、景気後退の影響を受け、平成21年度に法人市民税が大きく減少し、その後も景気が回復しない厳しい状況が続いている。今後も財政需要の増加が考えられ、行政サービスの効率化と質の向上、事業の選択と集中を進めていく必要がある。

質問2(1) 遅かれ早かれ実施する予定の公共事業を前倒して実施することは、地域の経済対策になる。まず、地震対策として早急な対応が必要な学校屋内運

動場の吊り天井の改修について、その予定と事業費を伺う。

答弁2(1) 6校の改修が必要。総額約1億8千万円の改修費がかかり、緊急性が高い事業として来期からの実施計画に入るように進めている。

質問2(2) 公民館は、東南海地震が発生したときの避難所として指定されているが、16施設は、まだ男女共用トイレである。経済対策にもなる改修工事を、早期に実施すべきと考えますが、今後の予定を伺う。経済対策として短期に実施できるように、来期からの行財政経営計画の実施計画に盛り込むべきでは。

答弁2(2) 厳しい財政状況だが、事業の緊急性、重要性などを勘案して年次計画的に検討する。

すずか倶楽部 中西 大輔 議員



- 1 市民相談支援について
- 2 学校施設整備について

質問1 野洲市の多重債務者包括的支援プロジェクトの取り組みは、鈴鹿市の参考になると考えるが、市の見解はどうか。市民対話課での相談ワンストップ機能の向上、窓口案内のコーディネート機能向上はどうか。職員再任用の際、対人経験豊富な人を相談窓口に戻任用にしてはどうか。

答弁1 野洲市の事例は行政の総合的な取り組みで、生活再建支援を成功させている事例と理解し参考としたいが、自治体が踏み込める領域には個人のプライバシー等慎重な配慮が必要であり、三重県内他市の状況も

参考にしながら、方向性を見定めたい。また窓口のコーディネートについても野洲市の取り組みを検証したい。経験豊富な人材登用をすることについては、人事担当部局と協議したい。

質問2 今後10年の学校施設整備について、対象とどの程度のコストがかかり、どの様に取り組むのか。

答弁2 平田野中学校移転改築、吊り天井の改修工事、栄・河曲・牧田小学校の屋内運動場増改築、河曲・石薬師小学校の大規模改修工事。さらに、桜島小、白子中学校校舎の増改築工事、白子中学校の武道場の新築工事等が挙げられるが、総事業費は概ね67億6千万円を予定。安全で良好な教育環境を維持するため、今後も歳出予算の平準化を図りながら、計画的かつ継続的に建替えや大規模改修などを行う。